平成１７年　萩市議会９月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通　告　者	摘　要
１	５	藏　貫　忠　孝	９月　７日
２	８２	藤　田　克　弘	
３	６１	守　永　忠　世	
４	４	諸　岡　晧　二	
５	１０	徳　倉　照　夫	
６	６６	世　良　眞名夫	
７	２５	中　野　　伸	９月　８日
８	８９	伊　藤　　勇	
９	２	西　元　　勇	
１０	６０	宮　内　欣　二	
１１	９０	清　水　基　巨	
１２	８６	山　木　好　弘	９月　９日
１３	４８	西　村　生　則	
１４	３３	西　島　孝　一	
１５	８	藤　井　郁　子	
１６	８３	近　江　郁　宣	

１７	４５	阿　部　義　美	９月１２日
１８	８７	広　兼　義　烈	
１９	１	齋　藤　眞　治	
２０	２６	高　橋　正　演	
２１	１８	木　村　靖　枝	
２２	２８	林　　茂　樹	９月１３日
２３	６	白　石　元　紀	
２４	１７	江　原　任　子	
２５	９	山　田　和　男	
２６	１１	大　谷　泰　一	

質問順位	1	質　問　者	藏　貫　忠　孝　　議　員
質　問　項　目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
1.「川」の問題について		阿武川の自然環境洪水対策についてお尋ねします。	
		1．ダム湖水面の利用方法について	
		2．日本固有の生態系を守るため外来種被害防止法の施行によるブラックバスの駆除対策について	
		3．アユや在来魚確保のため「川鵜」の対策について	
		4．オオカナダモ、ヨシ、柳の処理対策について	
		5．水質保全調査について	
		6．洪水対策の河川法「3 号地」確保について	
		7．山口県が「萩・阿東地域河川環境管理基本計画」を策定していますが萩市の対応とその事業の進捗率について	

質問順位	2	質　問　者	藤　田　克　弘　　議　員

質　問　項　目	質　問　事　項　及　び　要　旨
１．農業問題について	１．集落営農の現状と今後の取り組みについて
	２．グリーン・ツーリズムの推進について
２．アスベスト対策について	１．アスベスト使用実態調査について
３．市道の整備について	１．七重・奥畑間の道路整備

質問順位	3	質　問　者	守　永　忠　世　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．射撃場の鉛弾公害及び施設について		１．鉛弾による公害について	
		２．射撃場施設の整備について	
		①射撃場及び猟友会の人たちが安心して練習できるよう施設の整備について	
		（鉛公害について住民の方からの苦情を受けて）	

質問順位	4	質　問　者	諸　岡　晧　二　　議　員

質　問　項　目	質　問　事　項　及　び　要　旨
１．萩国際大学について	１．現状について
	２．今後について
２．アスベストについて	１．現状について
	２．今後について
３．羽賀の台のゴルフ場について	１．現状について
	２．今後について

質問順位	5	質　問　者	徳　倉　照　夫　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．社会教育の推進と啓発について		１．家庭教育の関わりについて	
		２．子供会の育成について	
		３．宗教教育について（政教分離か道徳か）	
２．コールセンターの誘致について		１．６月定例会以降検討がなされたか	
		２．農（食）に関わるセンター誘致を	
		３．金融関連コンタクトセンター誘致を	

質問順位	6	質　問　者	世　良　眞名夫　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．陶芸の村構想について		１．（仮称）明治維新記念館と萩陶芸美術館の建設計画について	
２．史跡萩城跡内の整備計画について		１．東園の整備計画について	
３．歴史の道　萩往還道について		１．道の安全確保について	
		２．不法投棄ごみの処理について	
４．地域活性化対策について		１．都会地からの定年帰郷者の受け入れについて	
５．教育行政について		１．市内小・中学校の学校一斉公開について	

質問順位	7	質　問　者	中　野　　伸　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．農道舗装について		むつみ地域は、ＪＡ山口阿武農協内の農業生産販売高の半数近い数字をあげている。これも先人の首長が農業振興に大きく情熱を捧げ取り組んだ成果であり、農道舗装もこの一環である。 　これまで、年次的に計画し順調に進められ今年度も計画されてはいたが、合併絡み、財政面で予算計上はならなかった。 　現在、舗装率は約５０％であるが、これからも農家の生産意欲を高めるとともに厳しい農業に取り組む農家の姿勢に、引き続き計画をもち整備されることを強く要望するもので、市長のお考えをお聞きする。	
２．国旗掲揚の推進について		最近、国の祝日に国旗を掲揚する家庭が減少しつつある。以前は、祝日といえばほとんどの家並みに日の丸が見られ、晴れやかで風にも揺られ勢いを感じていた。 　昨年の８月、１０８年ぶりに近代オリンピックの発祥地アテネで、第２８回夏季オリンピックが開幕し日本選手の活躍により今までになく多くの日の丸が掲揚され、日本国民だれもが感動、涙した。 　私達、国旗を掲げようと思えば、年に１４回自分の手で掲げられる。 　一日も早く、地域間、全市民の一体感を強めるためにも市民参加で、日本の祝日には国旗を掲げるよう推進されてはどうか市長のお考えをお聞きする。	
３．ＩＳＤＮ（統合デジタル通信網）～ＡＤＳＬ（高速通信システム）へ		今の通信網から高速通信システムへの施設整備であるが、６月議会定例会において同僚議員がケーブルについて質問されているが通信網であるケーブルが整備されていない地域がありながら先に進むが、現在の“ＩＳＤＮ“では、情報が「遅い」「不安定」である。したがって「早く」「安定」である”ＡＤＳＬ“化に、未通信網の地域を含め整備されてはどうか。 　今や「ブロードバンド」時代で、すべての人が同じ状態で同じ情報を公平に確認、認識できる。こうした社会の動きの中で、市内全域に高速通信システムの施設整備をされてはどうか市長にお聞きする。	

質問項目	質問事項及び要旨
４．名水（活性水素水）の商品化について	新市誕生とともに広大な萩市となり、資源も豊富でその地下資源である水（湧水）を活性化し、世に売り出し、ジャンジャンスイスイ儲けて市民の暮らしを豊かにしてはどうか。 旧むつみ村では、平成元年に大阪から（株）日本技術センターという企業を誘致し、平成２年から創業し現在に至っている。 この企業は、多種にわたり開発し、その中で鉱石を高温で加工したセラミックスを利用することにより、水を活性化する技術を持っている。 その技術を持って、市内の地域内から良質な地下資源（水）を活用し、萩の名水として商品化し世に売り出す考えはないか市長にお聞きする。

質問順位	8	質　問　者	伊　藤　　勇　　議　員
質　問　項　目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．学校教育、児童生徒の見守りについて		激しい社会変化の時代にあって、児童生徒に対する社会悪（事件）が増大傾向にあり、子供たちの見守りは学校・家庭・地域社会が協働して将来を担うための教育が必須とされる時、市教育委員会として以下の諸点（事項）をいかに考え諸問題の予防対策を進めるのか、現状と推進すべき具体的内容を問う。 １．平成 17 年度生徒指導推進計画を踏まえて、いじめ、暴力、非行、不登校の現状と未然防止、解決策をいかに進めるか。 ２．今日的に普及しているインターネット及び電子メールやチャット・掲示板の使用に対し小中学生と家庭にいかなる規制と喚起を与え呼びかけ（約束）を実施しているか現状を問う。	

質問順位	9	質　問　者	西　元　　勇　　議　員

質　問　項　目	質　問　事　項　及　び　要　旨
1．文化財	1．国指定史跡萩城跡（東園地区）整備計画と銃眼土塀の修復について
	2．国指定史跡萩城跡に隣接する市指定歴史的景観保存地区内の民有地の公有化について
2．生涯学習	1．夏みかんの里大井地区に「郷土の花」のミュージックサイレンの吹鳴について

質問順位	１０	質　問　者	宮　内　欣　二　　議　員
質　問　項　目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．地元小規模業者に仕事を確保する方策と入札制度の改善について		１．公共事業を地域経済活性化に結びつけるために、どのような方策を考えているか。	
		２．地元小規模業者の受注機会を増やすための、小規模工事登録制度の創設を進める考えはないか。	
		３．住宅リフォーム助成制度の創設で民間需要の掘り起こしを進めることはできないか。	
		４．条件付一般競争入札制度や予定価格の事前公表の、全面的導入を進める考えはないか。	
２．弥富診療所常駐医師の確保と地域医療について		１．弥富診療所医師の確保はどこまで進んでいるか。	
		２．地域医療の医師確保のため、今後どのような方策を考えているか。	
３．介護保険制度の改正に伴う対応について		１．要支援と要介護１の一定部分が、要支援１、要支援２に移行することによる市民生活への影響をどう見ているか。新予防給付での家事援助、生活援助をどうするか。	
		２．地域支援事業の総事業費枠と、サービス充実、利用者負担は今後どうなるか。	
		３．地域包括センターの体制はどうなるか。	
		４．施設利用者負担増に市独自の対応策を考えるか。	
		５．施設利用の軽度者（要介護１）への今後の対応を、どう考えているか。	
		６．今後の施設整備にどんな方針であたるか。	
		７．保険料徴収段階の見直しについて、どういう方針で臨むか。	

質問順位	１１	質　問　者	清　水　基　巨　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．萩市立保育園、小・中学校の安全・安心、環境衛生について		１．須佐の育英小学校改築に対してどのような対策を考えておられるのか（不審者侵入防止のための工夫、改善点）	
		２．不審者侵入時のマニュアル、訓練等はやっているか	
		３．子供 110 番の家で留守宅が多いが別の対策を問う	
		４．砂場の野良ネコふん尿対策について	

質問順位	１２	質　問　者	山　木　好　弘　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．安心して暮らせる福祉の町を		１．弥富診療センターに医師の確保を	
		①緊急時には夜間でも診療できるような体制づくり・入院施設の復活	
		２．特養・老人ホームの待機者をどうされるか	
		３．これからの一人暮らし対策の施策は	
		４．緊急通報電話の増設を	
		５．生活支援ハウス・ケアハウス・グループホームの建設の取り組み	
		６．過疎で生きる交通弱者の足として、バス路線・福祉タクシーを今後も守っていかれるか	
２.「自慢づくり」でまちづくり		これからのまちづくりの一つとして「自慢づくり」でまちづくりを提案します。	
		萩市は小さな町ですが、小さくても萩市のよさを活かし活性化を考えています。	
		「自慢づくり」とは、自慢することではなく自慢することをつくることです。市民の皆さん個人個人でもグループや集落、団体などでの発想や話し合う中から自慢できることをつくることです。	
		自慢できることとは	
		・特産の開発	
		・野菜や果樹を作ること	
		・おいしい郷土料理を作ること	
		例：米・麦・魚介類・果樹・野菜・大豆・そば・きび・その他の使用	
		個人や団体の「自慢づくり」が広がれば、それが結果としてまちづくりにつながり、新しい何かが生まれてくる可能性があります。	
		「自慢づくり」は、あくまでも個人や団体の自発的な取り組みであり、その主体性を尊重するとともに、行政は「自慢づくり」が成功するために、次の支援をしてはどうですか。	
		１.「自慢づくり委員会」を行政・市民（官、民）で発足させて、取り組みについて助言や、内容を皆さんに紹介し激励する。	

質 問 項 目	質　問　事　項　及　び　要　旨
	２．特産品の開発や新しい野菜・果樹の栽培、海産物の開発、研究など、必要な研修視察、種子、苗木の購入など補助を行う。
	３．必要な技術指導や販路の開発などには、専門家を斡旋したり協力を求める。
	４．「自慢づくり大会」を開いて交流を図る。 以上、活性化の一つとして提案します。

質問順位	１３	質　問　者	西　村　生　則　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．行財政改革について		１．職員数の削減計画	
		①市長の任期中（４年間）の削減目標	
２．一次産業（農林漁業）の振興について		１．農業公社の機能充実	
		①広域市町村合併に伴い、広大となった農地を一括的管理をするには農業公社機能充実が不可欠と思われるが、効率的運営をどのようにお考えでしょうか。	
		２．資源利用（竹）について	
		①「萩の竹ブランド」に取り組んでおられますが現状と課題について	
		②その他、竹の有効活用 農地の妨げとなってきた竹の駆除、利用方法	

質問順位	１４	質　問　者	西　島　孝　一　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．市民生活に関わる地域活動について		１．町内会等の活動の推進に係る補助制度	
		①コミュニティ活動費補助金のあり方と今後の対応について	
		２．地域協議会設置に向けての進捗状況について	
２．観光行政について		１．萩八景遊覧船	
		①事業開始１年を経過した年間利用客の実績について	
		②事業運営における乗船客からの評価について	
		③待合所の現状と今後の課題について	
		（元国民宿舎「城苑」跡地の活用について）	

質問順位	１５	質　問　者	藤　井　郁　子　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．新市における「萩市平和都市宣言」及び国民保護法にかかる基本計画について		１．旧萩市における「萩市平和都市宣言」の意義	
		①戦争の悲惨さと核兵器廃絶についての市長の所見	
		②美しい自然と豊かな詩情のまち萩をまもるとは	
		２．新市における「非核平和都市宣言」制定意思の有無	
		３．萩市における国民保護法にかかる基本計画の制定時期と手法、及び基本理念	
２．第３セクター等における萩市の支援と、民間の能力活用や連携等について		１．第３セクターへの補助の現況、評価と将来展望	
		①現況と課題の情報開示について	
		②公共の利益と収支バランスの基本方針	
		③指定管理者制度における事業評価と今後の課題	
		２．公金支出や官民共同事業で、現在も深刻な問題を抱えている事業についてどのように政治責任を果たしていくのか	
３．合併後の新市における専門職等の現況について		１．専門職の充実と、行政各分野のサービス	
		①旧市町村と新市を比較した場合の、専門職種と専門職員数の対比、向上したサービス内容の開示	
		２．専門職の充実による、各分野における現況分析・政策立案や行財政改革への貢献度	

質問順位	１６	質　問　者	近　江　郁　宣　　議　員
質　問　項　目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１・新市になっての将来の見通しについて			
２．県道萩篠生線のバイパス整備について		陶芸の村公園～福栄吉田間	
３．旧萩市民球場問題について			
４．楫取素彦旧宅跡地の整備について			

質問順位	１７	質　問　者	阿　部　義　美　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．障害者の雇用対策について		１．障害者の数と就業の実態は	
		２．法定雇用率に達しているか	
		３．市内企業の雇用状況と雇用を指導されるか	

質問順位	１８	質　問　者	広　兼　義　烈　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．農業振興施策に関すること		６月議会において市長は農業振興に失敗すれば合併の失敗につながると農業振興に強い意欲を示している。 このまちにとって農業は大きな課題をもった産業と受け止められていると判断している。 そこで次のことについて質問する。 １．市の農業振興計画はできたのかどうか。 ２．農業算出額（平成１５年を基準）に、どの程度まで引き上げようとしているのか。 ３．農業算出額を増加させるについて、どのような作物に比重を置くのか。 （上位５品目の農業算出額） 旧萩市　　米　葉たばこ　なつみかん　タマネギ　ブロッコリー 旧むつみ村　米　ダイコン　トマト　肉用牛　メロン 旧田万川町　米　肉用牛　モモ　日本なし　ぶどう 旧旭村　　米　大豆 旧福栄村　　米　葉たばこ　白菜　メロン　キャベツ 旧川上村　　米　肉用牛　ゆず 旧須佐町　　米　肉用牛　菊　葉たばこ ４．生産基盤である農地をどのようにして維持するのか。 ５．経営体として個人重視か。協業組織重視か。（集落営農含む）法人重視か。 ６．専業農家の比重を高めていくのか。それとも安定兼業農家の育成を目指すのか。 ７．人口減少が進行してくるため各産業とも労働力の確保が困難になる。どのような施策を講じられるのか。 ８．農業のアキレス腱は農業所得が低い事である。（農家所得の１０％程度）加えて土地生産性、労働生産性も全国平均を大きく下回っている。所得向上対策としてどのような施策を打ち出されるのか。 ９．旧市町村の実情は農業の比重が異なっていることで合併により急速に統一、画一化することは地域農業の振興にブレーキをかけかねない。	

質問項目	質問事項及び要旨
	実情に合った施策をとるべきと思うがどうか。
	農業も突き詰めれば農家自体の問題である。しかし、放置すれば農山村地域は消滅しかねないところもある訳で、より現実的で分かり易い施策を展開していただきたい。
２．若者定住と子育て支援に関すること	６月の一般質問で人口定住については総合的な内容を述べ若者定住については今一度検討すると答弁されている。
	１０月に国勢調査が実施されるが難しい結果がでることが予想される。
	まちの活力は人であり、建設計画に示されているように人口減少を最小限に食い止め人為的に増加させなくてはならない。（自然の成り行きに任せると２０１５年の人口は５０，１６４人になると推計されるが、それを各種施策で５３，０００人にする。）
	建設計画で
	１．合併を契機とした産業の振興、快適な生活環境の整備、教育、文化、福祉の充実などの総合的なまちづくりの施策により、若者層を中心とした定住が進むことを前提にして平成２７年の将来目標人口５３，０００人とする。
	是非とも実現させなくてはならないが具体的な施策として実施または計画している内容について示していただきたい。
	２．若者定住支援について、まちの将来のために若者の定住は不可欠となる。定住するための就労の場の確保のために企業誘致や既存企業の活性化、新たな地場産業の展開育成、振興を進める。
	働く場がないと生活できない。建設計画に述べられている内容の推進こそ期待するところで、どのような取り組みがなされているのか。
	旧萩市においては近年、企業誘致のための土地確保、あるいは造成はしていないということであったが、消極的すぎるのではないかと思う。
	３．年少人口率も低い、若者の定住もままならない。結果として少子につながる。少子化対策として、今一歩踏み出してはどうか。

質問項目	質問事項及び要旨
	子供の医療費、児童手当等余地はあるのではないか。金がないで済むことではないと思っている。国並、県並というのでは過疎化の進行は食い止められないと思う。 是非、検討いただきたい。 ４．少子化が続けば地域社会は根底から揺さぶられることになる。 少子化を防ぐについてカップルを増やす対策も考慮すべきである。結婚したくても相手が見つからない。そういうケースを少なくすることも大切だと思う。 ５．社会全体で子育てを支援していく。そうした雰囲気を積極的に醸成していただきたい。

質問順位	１９	質　問　者	齋　藤　眞　治　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．観光行政のあり方について		１．萩市観光文化センターについて	
		①施設の将来展望は	
		２．ロイヤルホテル及び商店街について	
		①ホテル及び商店街の将来展望は、施設の将来展望は	
２．公務員制度改革について		１．行政改革大綱の進捗状況について	
		①大綱作成の基本的な考え方は	
		２．地域給与制度について	
		①地域に与える影響は	
３．障害者対策について		１．精神障害者の社会復帰支援について	
		①行政としての支援は	
		２．すべての障害者の雇用対策について	
		①事業所等に対する障害者雇用の啓発は	

質問順位	２０	質　問　者	高　橋　正　演　　議　員
質　問　項　目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．少子化対策について		全国生涯出生率１．２９人次世代を担う子供が減少し社会問題となっている。危機感を持って独自のプロジェクトチームを作り、少子化対策を検討するべきではないか。	
２．市民農園の現状と今後の取り組み		市民農園を旧町村に設置することにより、プロの指導を受けたり、地域間の交流促進や市民の一体感の醸成を図ることができないか。	
３．地元産木材活用による一般住宅建築に対する行政支援を		木材価格の低迷の中、需要拡大として公共施設に利用を考えておられるが、更なる需要拡大、林業活性化につながるのではないか。	

質問順位	２１	質　問　者	木　村　靖　枝　　議　員
質　問　項　目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．環境行政について		安心安全な市民環境整備の取り組みについて問う。	
		１．萩市における公共施設のアスベストの実態調査及び今後の対策について	
		２．京都議定書目標達成計画における市の取り組みについて	
２．観光行政について		１．萩の湯めぐり「萩温泉郷」の利用状況について	
		２．宿泊施設（ホテル旅館等）へのＡＥＤ（自動体外式除細動器）の導入について	

質問順位	２２	質　問　者	林　　茂　樹　　議　員
質　問　項　目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．少子化の現状と課題、そしてこれからの取り組みについて問う		１．都市部と地方では、子供の出生率に若干の差異はあるものの、全国的には子供の減少傾向が続く中で、本市における現状と今後の人口動態予測をどう見るか ２．次世代の担い手として子供の役割は、社会の営みの中にさまざまな形で関わってくる。少子化が進行することによる社会への影響、行政施策に与える変化等たくさんの課題が生じてくるが、懸念される事柄をどのように分析しているか。 ３．人口減少に歯止めをかけるための抜本的な対策を講じることが急務となっている。実際には、具体的な方策を示すことが極めて難しいデリケートな面を持つ問題である。行政の立場からは物心両面を含むソフト、ハード事業を展開していく必要があると思うが有効施策をどのように考えておられるか。	
２．道路行政の推進について（県道）		以下、具体的路線の整備について問う ①日原須佐線（桑原～峠地内　　芦谷地内） ②弥富小川線 ③宇田須佐線（あおら地内）	
３．旧町村役場の空きスペースの有効活用について		合併後の総合事務所として旧町村役場が使われているが、どこの事務所も閑散とした様子が見受けられる。必然的に生じた空きスペースを地方自治法等関係法規に抵触しない範囲での利活用に供することはできないか。	

質問順位	２３	質　問　者	白　石　元　紀　　議　員
質　問　項　目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．情報通信網について		１．ＣＡＴＶに関する施策について	
		①デジタル放送の再送はいつから	
		②2 系統のＣＡＴＶ網は統一の必要があるのでは	
		③アナログ放送を全市内同一内容にする可能性は	
		２．ブロードバンド通信基盤整備について	
		①市内の通信基盤をＦＴＴＨ（光ファイバー）では	
		②ブロードバンド化の事業補助の可能性は	

質問順位	２４	質　問　者	江　原　任　子　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．郷里が生んだ大実業家　藤田伝三郎氏の顕彰について		現ＮＨＫの敷地を萩市に寄贈された藤田伝三郎氏が、没後まもなく一世紀が到来します。 井上馨との縁で実業界入りし、大阪実業界の重鎮となり大成し、郷里へ大きく貢献されました。 いま、「お成り道の再生」の運動が起きており、ＮＨＫの敷地も含まれることでもあり、年次計画により観光スポットとなる環境整備をし、記念すべき百年祭を迎え事蹟を顕彰することについてお尋ねいたします。	
２．子育て支援について		先般、山口県公明党女性局で全県的に子育てアンケート調査をいたした際の要望事項に多く挙げられていたのが、「大型遊園地が欲しい、休日には近くの長門まで家族で出向かれる実態です。」逆に長門市の方から、「合併後広範囲な地域となり、萩市にもぜひ遊園地を造ってあげてください。」と記されていました。 大型遊園地設置に対する、今後の萩市の構想・取り組みについてお聞かせください。	

質問順位	２５	質　問　者	山　田　和　男　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．中山間地域等直接支払制度について		１．加入率はどのくらいか	
		２．通常単価の８割と１０割の比率はどのくらいか	
		３．８月下旬には、集落協定申請期限であるが、行政としての説明会、啓発活動と現在の動きはどうであるか	
２．陶芸の村公園整備事業について		昭和６０年から平成２０年度までの事業であるが姿が見えません。	
		全体の構想と総予算額と、現在までに使った金額はいくらであるか。	
３．観光振興対策について		新市全体で考えられないか。中心地だけの観光ではなく、いろいろなパターンを考えてはどうか。	
		温泉、文化遺産、景観、体験等いろいろな組み合わせで、滞在型観光をされてはどうか。	

質問順位	２６	質　問　者	大　谷　泰　一　　議　員
質　問　項　目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．地域商工会の支援について		行政合併が進み、新行政が誕生しています。多くの新行政区で商工会と商工会議所が並存することになり、県内でも 9 行政区で並存することになりました。 新萩市においても、2 商工団体が存在しています。旧郡部においても 7 商工会が存在しています。各商工会も「会員サービスの向上」「専門的・高度な支援サービス」「経費節減」「ビジネスチャンス拡大」等を目標に各グループで合併しようと協議をはじめています。 小規模・零細企業は、地域に密着したサービスと雇用の場を提供する地域社会活力の源泉であります。商工会は、地域の発展のために経営改善普及事業を展開しています。これは、「経営相談」「税務・記帳」「金融指導」また地域経済の活性化・経営革新支援・創業支援など地元業者、地域の人々にとってなくてはならない団体であります。 これからも、市行政との連携強化・一本化を基本として地域づくりをすべきと考えております。それには、行政の理解と支援は不可欠であります。 これについて、市長はどのように考えておられるかお尋ねいたします。	
2. 商工業者に対して旧郡部行政が実施していた利子補給制度について		わが国の経済は、一部業種また大企業においては景気の向上が見られるものの、地方においては依然として低迷が続いています。このような状況の中にあって、小規模事業者は懸命の自助努力をしているところであります。 旧郡部の行政では、設備資金の資金に対して利子補給制度という大変すばらしい制度がありました。 合併協議会において当面現行どおりとありますが、経済は生き物であります。 合併して 6 ヶ月たったが、どのように協議されているのかお尋ねいたします。	